

ブレイキングスルー 長崎からリバプールへ



グローバル・サプライチェーンとは？

- グローバル化 – インフラストラクチャー
- グローバルな生産サイクルは多くの小さなパーツに分かれている。
- 1970年末から始まるこの生産様式は運輸、IT、電気通信のコストの低減を可能にした。
- グローバル・バリューチェーンは、商品またはサービスの価値を生み出すあらゆる人々から構成される。
- ILOはグローバル・サプライチェーンを需要と供給の関係ととらえている。そこでは生産過程の様々な作業が2か国以上で行われる。グローバル・サプライチェーンは、商品とサービスの両面を含み得る。

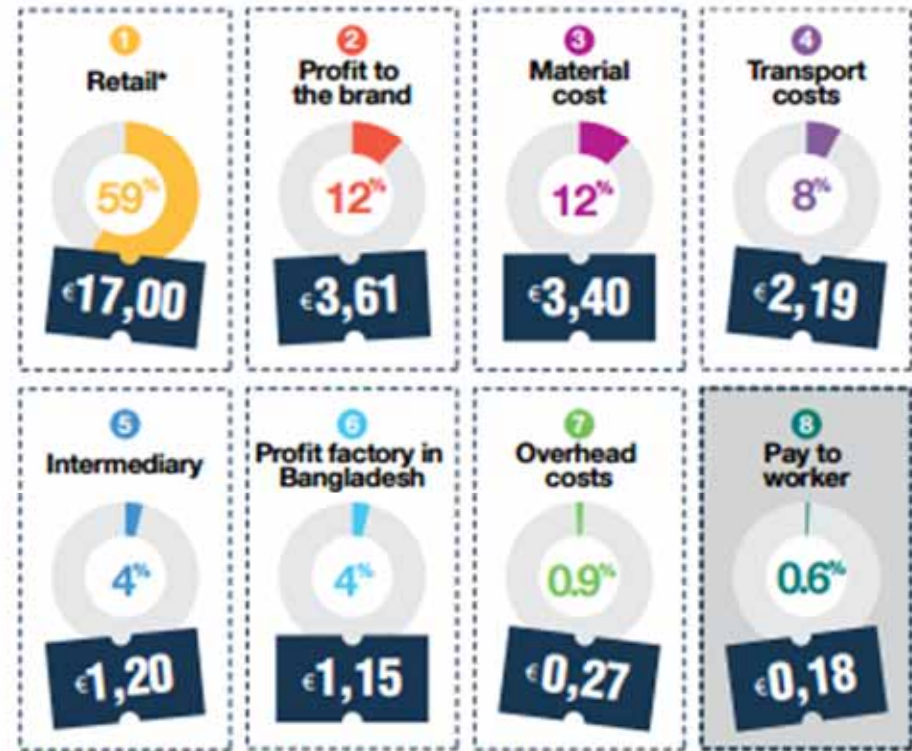
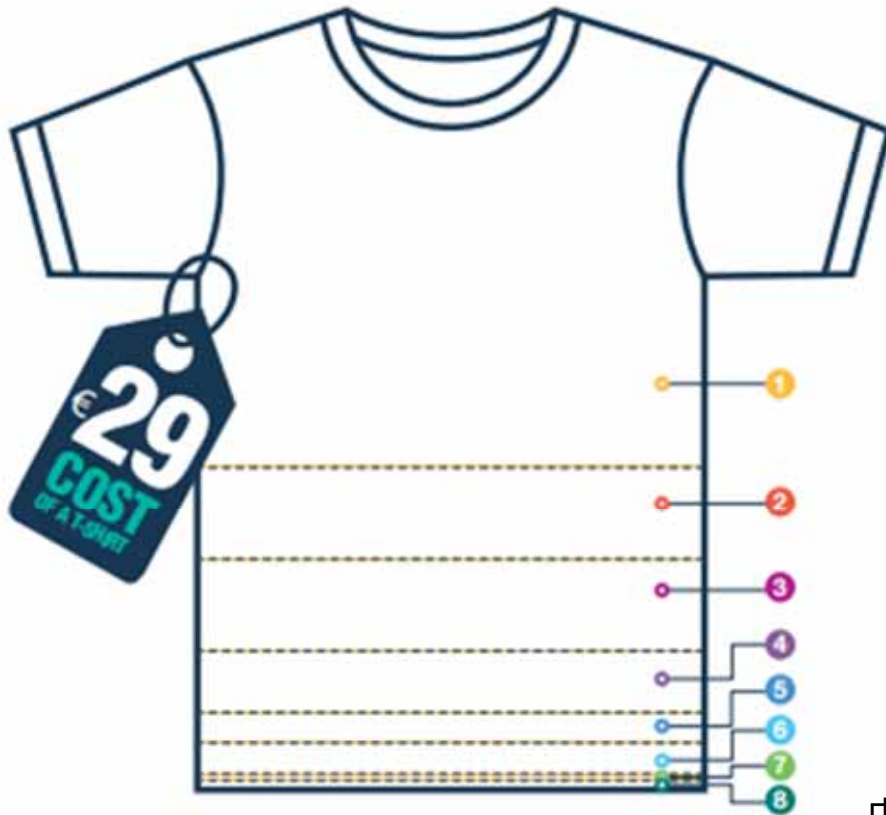


グローバル・サプライチェーンの図解

Breakdown of costs of a shirt

Tシャツのコスト内訳

小売 ブランドの利益 原材料 運送コスト



* Includes all costs at a retail level including staff, rent, store profit, VAT etc.

中間 バングラデシュの工場の利益 間接費 労働者への賃金

スケールは巨大である

- 実体経済におけるグローバルな取引の60%は、主要な企業のサプライチェーンに依存している。
- 何百万もの人が巨大な多国籍企業のための生産活動に従事しているが、直接には小さな企業に雇用されている。



- 多国籍企業はますます重要になっている。例えば、バングラデシュのGDPの80%は、グローバルなブランド企業に供給する工場から来ている。
- 50社のグローバル・サプライチェーンは、直接の雇用関係としては6%しか雇用していないが、実際には94%の隠れた労働力に依存している。(ITUC資料より)

成長の分け前にあずかれない労働者たち

- グローバルなGDPは、過去30年間で3倍となったが、労働者は必ずしもそこから利益を得ているわけではない。
- 外国投資を引き寄せるためのグローバルな「底辺への競争」
- 低賃金と不安定な労働条件は典型的に
- 労働者を守る法律は、弱い、または実行されず
- 反労働組合的風潮の広がり



グローバル・サプライチェーン：人間というコスト

フォックスコン

- 2010年中国深圳市のフォックスコン・シティー・工業団地の自殺者
- 150人の労働者が労働条件をめくり自らの命をかけて抗議し、結果として18人が亡くなった。
- 雇用慣行はいくつかの高名な顧客、例えばアップル、ヒューレットパッカード、ノキア、任天堂、ソニーによって調査されている。



グローバル・サプライチェーン:人間というコスト

ラナ・プラザ

- 2013年4月24日、バングラデシュの首都ダッカの工場が倒壊した。
- 死者は1130人に及び、そのほとんどは女性労働者だった。
- 労働者は、ビルの表面に大きな亀裂が見えていたにもかかわらず、働くことを強制された。
- ラナ・プラザ取材した現地メディアは、悲劇の前日に倒壊の危険を報道していた。
- ラナ・プラザから多くの多国籍企業が衣料を調達していた。



ラナ・プラザの後：ルールの変化

- 世界はこの恐ろしい出来事に反応した。
- 多くの政府、特にEU内の政府は、変化を呼びかけた。
- 2015年の G7会議は、グローバル・バリューチェーンを特に強調した。
- ILOは、2016年6月のILO総会のテーマとして、グローバル・バリューチェーンを取り上げることを選定した。
- UNI と IndustriALLは、1600の工場の安全衛生問題を取り上げるため、215のグローバル・ブランドと Bangladesh Accord (Bangladeshにおける火災予防および建設物の安全に関わる協定) を締結した。

ACCORD
on Fire and Building Safety in Bangladesh

自発的な CSR規範の失敗

- CSRは、年間70億ドルの産業となっている。
- PRとマーケティングのツールになっているが、実際に条件を改善しているかについては失敗との評価が広く行き渡っている。
- 例えば、最近監査を受けた企業が、火災、またはビルの倒壊による死者を出したとして、安全衛生法違反で提訴されるケースが見られる。
- ラナ・プラザの主な原因の一つとして、自発的なCSR規範の失敗があるとされている。

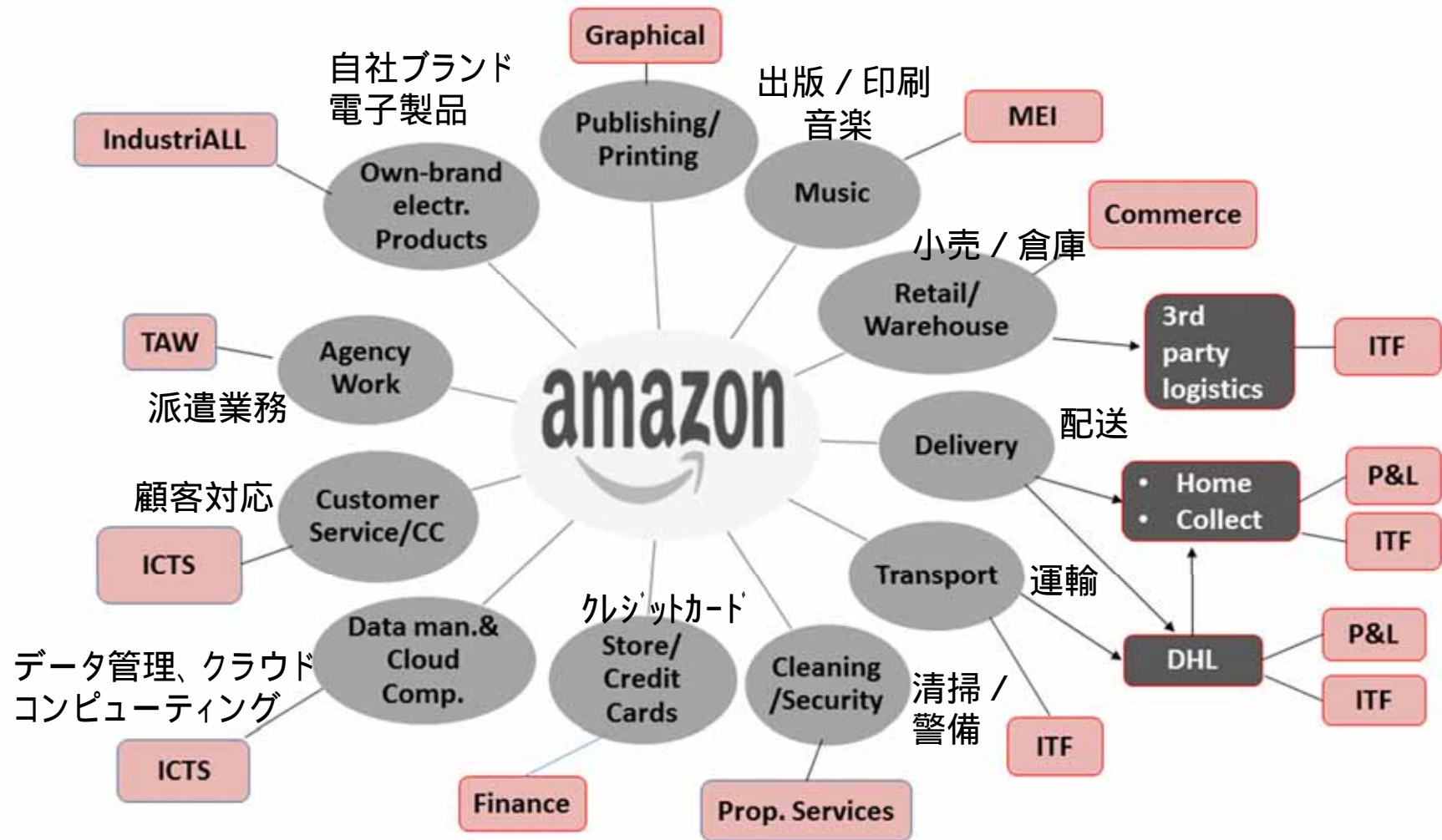


なぜUNIグローバルユニオンが関与しているか?

- H&M、インディテックス、ユニクロなど、大手グローバル小売企業は、バングラデシュなどで巨大な生産拠点を持っている。
- UNI加盟組合は、これらグローバルなブランドの従業員を代表しており、持続可能で公正な生産を要求する責任と関与を持つことになる : 商業部会
- UNIは、サプライチェーンの物流拠点で働く労働者を代表している : 郵便・ロジスティクス部会



アマゾンのサプライチェーン



いかにグローバル・バリューチェーン問題を解決するか?

- サプライチェーンをカバーするグローバル枠組み協定(GFA)。(例えば、プリマーク、H&M、インディテックス、他との現在の討論)
- 良い例として、カルフルーとの新たな、改善されたGFAがある。このGFAは、グローバル・バリューチェーンという点をより強調している。
- OECDガイドラインの実施の強化。これは企業のサプライチェーンに適用でき、まさにG7の焦点となった。
- 安全衛生ルール適用の責任を多国籍企業に負担させる、バングラデシュ・アコードのように拘束力のある協定。
- その他の問題もカバーするようにアコードを拡大したり(例えば、組織化の権利)、他の国に拡大したりする。
- 生活賃金のためのキャンペーン。
- UNIも、2016年6月の、サプライチェーンに関するILO総会に参加。



長期的なステップ

- グローバル・バリューチェーンをカバーする、多国籍企業に関するILO宣言のアップデート
- グローバル・バリューチェーンをカバーするILO条約
- 貿易協定に強制力のある労働基準を盛り込む
- 多国籍企業に対し、国境を超えた強制力を持つ国内法
- 国連の指針に強制力を持たせる国連条約

ボトムライン : 多国籍企業は、ディーセントワークを確保する責任を持たねばならない。しかし政府もまた、労働者を保護するためにその仕事をすべきである。

MAKING IT HAPPEN – 2018年、リバプール

- UNIの次回(第5回)世界大会は、2018年、英国リバプールで開催される。そこではグローバル・サプライチェーンを強調する。
- 「Making It Happen」という大会スローガンは、UNIファミリーの精神と、リバプールという町をまとめたもの。
- サプライチェーンのクロスロード(交差点)と、労働の新しい未来

